

I. イベント部会報告書 (部会長 池辺 美紀)

1. 次代をになう！水辺とのふれあい教室 (県央・県南地区) の開催 (宮崎県河川課委託事業)

プログラム①

◆ダム見学と川遊び体験 (バス見学)

開催日 平成29年7月28日(金) 8時30分～15時30分
場所 広渡ダム(広渡川)、しゃくなげの森(沖水川)
対象 小学3年生以上の親子7組
参加者数 親子7組 計14名

参加者から、行程の途中や見学場所での質問が多く、自然環境や川に関心が高い方が多かった。広渡川の広渡ダムでは、日南土木事務所の工務課河川ダム担当の方から、広渡ダム資料館で分かりやすく説明を受けた後、普段は入ることが出来ない広渡ダムの内部(監査路や制御室)を見学。また、ダムカードを配布していただき参加者が喜んでいました。洪水時の水量を調整するために建設されたとの説明を受け、増水した時の怖さやダムの役割の重要性を学んでもらうことができました。

ダム見学の後、沖水川のしゃくなげの森へ移動して、水辺で安全に活動する方法についての講義後、川遊び体験を実施。水温が低く少し冷たかったが、参加者は、大淀川に繋がっていることへの驚きと、上流部の清流の美しさの気づきがあり、清流を守っていかねばいけないとの意欲を示す子どもがいた。施設でのヤマメつかみ取りも行い、溪流で泳ぐという貴重な体験も加え、参加者の思い出作りと同時に、川を愛する心の醸成につながっていくと感じた。

以上のことから、次代を担う子どもやその保護者に、楽しく川に触れ合う機会を提供することができた。

プログラム②

◆川流れと川遊び体験

開催日 平成29年8月22日(火) 9時00分～12時00分
場所 綾町松原自然公園(綾南川)
参加者数 子ども49名と保護者50名 計99名
(申込数 子ども54名・保護者54名 計108名)

実施前の事前準備として周辺の草を刈って通路を確保した。当日は、川の水量が豊かで安心して川流れを実施することができた。ボードで川流れは、宮崎大学の大学生と宮崎河川国道事務所の方に安全管理を担当してもらった。また、のぞきメガネで自然観察と水生生物探しには、五感を使った水辺環境調査の下敷きを使用して水生生物調査を実施。最下流部には、県の担当者の方にストッパーを担当いただいた。

平日を開催日としたが、定員をこえる申し込みがあり参加者を抽選で選定した。数人のキャンセルが発生したのでキャンセル待ちの方へ連絡したところ、参加を喜ばれ、事業を楽しみにいただいていることが分かった。



昨年度、川流れをもっと楽しみたいとの声があったため、今年度は、川流れを「ボードで川流れ」と「PFDで川流れ」の2種類にして、体験の時間を多く設定。各所で子どもたちの歓声と笑顔に溢れ、川を流れて面白かったことや、魚を上手く捕まえたことや、水生生物や不思議な生き物を見つけたことの感動等を、親子で対話している光景が見られ、綾南川の自然を満喫してもらうことができた。ヤマメつかみどりをして、炭火で焼いて食べるという経験も好評で、参加者の保護者から、体験メニューが充実していて、進行もスムーズと好評価をいただいた。子どもからは来年もまた来たいとの感想があった。

以上のことから、次世代を担う子どもたちに、川について関心を持ってもらい、川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさ・ありがたさを学んでもらうための学習・体験の場を提供するという目的を達成することができた。



たくさんの笑顔が集まりました。

右、当日のスタッフ（宮崎大学の学生さん国土交通省宮崎河川行動事務所の方々が協力していただきました。）

2. 子どもの水辺・海辺安全教室の開催（宮崎県河川課委託事業）

実施日：◆平成29年7月26日（安久子どもクラブ）、◆27日（太陽スポーツクラブ）、◆29日（本郷キッズ）、◆31日（宮崎第一中学校）、◆8月11日（川東小サッカークラブ）、◆26日（志和地子どもクラブ）

場 所：沖水川上流（しゃくなげの森）

参加者数：合計子ども 357名

ライフジャケットの正しい装着と川で気をつけなければならない事を指導。川は楽しいところであるが間違えば命を落とすこともある事を伝え大変真剣に聞いてくれました。川で泳いだことのない保護者も多いため、流れのある川での水辺講習は子どもだけでなく保護者にも有意義であった。



川の安全教室指導の様子

3. AQUA SOCIAL FES!! 2017 in宮崎

◆～大淀川にイイコトして水辺を市街地有数の憩いの場に！～第1回：

稚魚も希少植物も喜ぶ水辺をつくろう小川再生プロジェクト

実施日 平成29年5月28日（日） 9時～12時

場 所 天満橋下 大淀川

参加者数 190名

内 容 せせらぎ水路清掃、タコノアシ保護活動、アユの稚魚放流



◆～大淀川にイイコトして水辺を市街地有数の憩いの場に！～第2回：

稚魚も希少植物も喜ぶ水辺をつくろう小川再生プロジェクト

実施日 平成29年7月23日（日） 9時～12時

場 所 天満橋下 大淀川

参加者数 130名

内 容 外来植生の除去、小川再生の技術指導。稀少植物タコノアシの保護活動



せせらぎ水路清掃と、タコノアシ保全活動の様子

4. 修学旅行カヌー体験（宮崎市観光協会、みやざき元気体験プログラム）

◆実施日 平成29年11月1日（水）

場 所 宮崎市役所下 大淀川

学 校 大阪市立汎愛高等学校

午前中・午後の2回 総数25名

◆実施日 平成29年11月21日（火）

場 所 宮崎市役所下 大淀川

学 校 福岡県春日南中学校

参加総数30名



- ◆実施日 平成29年11月30日(木)
- 場 所 宮崎市役所下 大淀川
- 学 校 大阪市立都島工業高等学校
- 参加総数 34名

修学旅行の受け入れでカヌーを実施。宮崎の自然の豊かさ大淀川の素晴らしさをカヌー体験を通して感じていただきました。一生思い出に残る体験になったことと思います。



5. Green Gift 地球元気プログラム in 宮崎

- 主 催 : NPO 法人大淀川流域ネットワーク
- 共 催 : 認定NPO 法人日本NPOセンター
- 協 力 : EPO九州、宮崎県、宮崎内水面漁業協働組合、国土交通省宮崎河川国道事務所
- 協 賛 : 東京海上日動火災保険株式会社
- 後 援 : 環境省

◆I 「北川に学ぶ洪水対策とホタル観賞」

- 実 施 日 : 平成29年6月3日土曜日 13:00~21:40
- 開催場所 : 家田霞提・家田湿原・ホタルの館
- 参加者数 : 宮崎の参加者 親子23名 延岡の参加者 親子25名

【内容】

霞提では県の担当者から霞提の役割と宅地かさ上げについての説明をいただき、洪水対策を学習。家田湿原では、北側町の担当の方に自然再生や生息する希少生物について説明を受け、自然保護活動の重要性を学んだ。また、ホタル館では宮崎延岡混合でのグループワークを行い「本日の学びについて」意見交換を行った。最後にホタル観賞を行い自然の織り成す神秘をそれぞれが感じていた。



◆II 「大淀川の魚・水辺安全学習と、うなぎ放流・つかみ体験」

- 実 施 日 : 平成29年7月22日(土)
- 場 所 : 天満橋下大淀川
- 参加者数 : 40名(申し込み83名)

【内容】

大淀川の魚たちの学習、水辺の安全の学習と交流会、ウナギ放流・つかみ体験を行いました。大淀川の魚たちの学習では、大淀川は魚たちの大切な棲みかたで、たくさんの種類がすんでいて、上流部にはオオヨドシマドジョウ、中流部にアユカケ、下流部にアカメなどの絶滅が心配されている魚もいることを、宮崎内水面漁業協働組合に説明してもらいました。水辺の安全の学習と交流会では、水辺で安全に遊ぶための注意について親子で学び、川の素晴らしさ・大切さ・楽しさなどについてみんなで意見交換を行いました。その後、天満橋下河川敷に移動してウナギ放流とつかみ体験を実施。ウナギさばき実演も行いました。



◆Ⅲ 「いのちの授業と水質調査」

実施日 : 平成29年11月25日(日) 9時~17時

場 所 : しゃくなげの森リバーパーク 沖水橋河川敷 都城市中央公民館

【内容】

宮崎の参加者(親子19名)と都城の参加者(親子23名)がしゃくなげの森で合流し、ヤマメの養殖場と採卵・人工授精を見学。ヤマメつかみどりを行い、炭火塩焼をたべた。宮崎県独自の環境指標を使って、沖水川上流域の風景や水生昆虫などの生物学的な見地やCODや透明度などの化学的な見地から水のきれいさを調査。次に、沖水川下流域へ移動して同じ方法で水のきれいさを調査。最後に、都城市中央公民館で交流会を開催して、川を通して何を感じたか、川で育まれている生き物のいのちについて何を思ったか、上流下流の水辺環境の違いとその原因などについて意見交換を行った。

ヤマメの採卵・人工授精の見学では、環境カウンセラーから、いのちの繋がりや大切さについて説明をいただいた。



6. 大淀川クリーンアップ2017 下流

実施日 平成29年7月15日(土)

活動範囲 大淀川河口 ～ 平和台大橋 大淀川河川敷両岸

実施団体 大淀川クリーンアップ実行委員会

共催団体 国土交通省宮崎河川国道事務所

参加団体：国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県県土整備部河川課、高岡土木事務所、宮崎土木事務所、宮崎市環境保全課、宮崎県建設業協会、宮崎県測量設計業協会、宮崎県造園緑地協会宮崎支部、宮崎県浄化槽協会、宮崎県地質調査業協会、宮崎市内ライオンズクラブ、全建緑陽会、大宮地区青少年育成協議会、九州電力(株)宮崎支社、(株)宮崎銀行、(株)宮崎太陽銀行、東京海上日動火災保険(株)、宮崎総合学院、NPO法人大淀川流域ネットワーク 総計 722名
収集したゴミ： 燃やせるゴミ 57袋、燃やせないゴミ 15袋、カン・ビン 10袋、プラ 3袋、ペットボトル 7袋
たくさんの団体やボランティア参加協力のおかげで広範囲にわたり活動ができました。



7. 水辺安全講習会

地域で水害時の救助活動や子ども達の水辺活動に携わる皆さんを対象とした、水中で安全に活動するための水辺安全講習会。活動を行う際の基礎知識やロープレスキューなどの救助技術および、流水中の避難時の歩行などについて、講義と実習を通して水辺の安全を学習。

主催：国土交通省宮崎河川国道事務所

主管：NPO法人大淀川流域ネットワーク

開催日時：平成29年7月19日(水) 9時～16時半

参加者数：11名(行政職員、大学生)

場所：国富町農村環境改善センター、本庄川





増水した川での本格的なレスキュー訓練

◆まとめ◆

イベント部会では平成29年度、計7の事業に、のべ1,700名以上の方に参加いただいた。各事業の目的を十分達成することができ、参加者それぞれが思い出になるような活動になったと思う。

また、事故もなく事業を遂行できたのは、国土交通省、環境省、宮崎県など行政機関。また、トヨタ自動車㈱、東京海上日動火災保険㈱などの企業の協力、さらには宮崎大学、宮崎総合学院など多数のボランティアの協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

特に、グリーンギフトプロジェクト、アクアソーシャルフェス、大淀川クリーンアップでは企業様から多大なる応援をいただき、子ども達の笑顔をたくさん集めることができました。さらに、川遊び安全教室やカヌー体験などでは川での自然体験を通じて、参加者の弾ける笑顔や、アンケートから川を愛する心の醸成がなされたと確信いたします。

イベント部会では来年度も川の自然体験を続け、ふるさとの自然の素晴らしさを伝えていきたいと思えます。